



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL http://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	29,986	2.2	1,734	29.0	1,823	23.5	1,001	29.1
29年3月期第3四半期	29,327	△8.7	1,344	△35.4	1,477	△30.5	775	△38.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,624百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △682百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	29.58	—
29年3月期第3四半期	22.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	55,676	44,037	75.2
29年3月期	54,294	42,307	74.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 41,882百万円 29年3月期 40,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期配当金の内訳 安定配当20円 記念配当2円

30年3月期配当金(予想)につきましては、平成29年5月2日に「平成29年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	10.6	3,600	22.6	3,700	21.7	2,250	28.5	66.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	34,536,635株	29年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	674,242株	29年3月期	674,135株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	33,862,467株	29年3月期3Q	33,862,620株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では好調な企業収益や雇用環境が改善し、海外では米国や欧州経済も緩やかな回復が持続しておりますが、政治情勢への懸念があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、社会の安全・安心に役立てる製品やサービスの創造に注力しております。国内では、「音の報せる力」を競争力の核に、減災・防災市場での販売の強化を継続しており、引き続きお客さまの環境や用途に応じた製品の開発やサービスの提供に努めております。また、海外各地域では現地での開発・生産・販売の推進を継続し、事業拡大を進めております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は29,986百万円（前年同四半期比+658百万円、2.2%増）となりました。利益については、営業利益は1,734百万円（前年同四半期比+389百万円、29.0%増）、経常利益は1,823百万円（前年同四半期比+346百万円、23.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,001百万円（前年同四半期比+226百万円、29.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は17,826百万円（前年同四半期比△324百万円、1.8%減）、セグメント利益（営業利益）は3,246百万円（前年同四半期比+340百万円、11.7%増）となりました。

自治体向けの防災用スリムスピーカーの販売が堅調であったこと、商業施設や医療福祉施設向けの放送設備の販売が伸長した一方、鉄道車両向けの販売が減少したことなどにより、売上高は減少しました。セグメント利益は、原価率の改善等で増加しました。

(アメリカ)

売上高は2,746百万円（前年同四半期比+318百万円、13.1%増）、セグメント利益（営業利益）は71百万円（前年同四半期比+27百万円、62.7%増）となりました。

アメリカで商業施設向けの放送設備や鉄道車両向けに大口案件の売上高が増加しました。また、カナダでも販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は3,467百万円（前年同四半期比+178百万円、5.4%増）、セグメント利益（営業利益）は317百万円（前年同四半期比+63百万円、25.0%増）となりました。

欧州で非常用放送システムや南アフリカで空港や発電所向けの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は4,919百万円（前年同四半期比+546百万円、12.5%増）、セグメント利益（営業利益）は557百万円（前年同四半期比+86百万円、18.4%増）となりました。

インドネシアやタイ、ベトナムでの地域商品の販売が堅調に推移しました。また、ベトナムで官公庁向けの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,026百万円（前年同四半期比△60百万円、5.6%減）、セグメント利益（営業利益）は169百万円（前年同四半期比△19百万円、10.4%減）となりました。

中国や台湾で商業施設などへの販売は堅調でしたが、大口案件の減少により、売上高は伸び悩みました。売上高の減少により、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は55,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,381百万円の増加となりました。資産の部における増加の要因は、投資有価証券の評価替えによる増加などによります。負債及び純資産の部における増加の要因は、為替円安に伴う為替換算調整勘定の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、「平成29年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,500	16,031
受取手形及び売掛金	9,941	8,290
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	5,547	6,677
仕掛品	842	838
原材料及び貯蔵品	2,438	2,571
その他	1,237	1,669
貸倒引当金	△76	△53
流動資産合計	39,932	39,525
固定資産		
有形固定資産	6,276	6,222
無形固定資産	1,510	1,591
投資その他の資産		
投資有価証券	5,631	7,292
投資その他の資産	962	1,047
貸倒引当金	△18	△3
投資その他の資産合計	6,575	8,336
固定資産合計	14,362	16,150
資産合計	54,294	55,676
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,926	3,884
短期借入金	1,292	735
未払法人税等	514	185
引当金	167	230
その他	1,984	1,743
流動負債合計	7,885	6,779
固定負債		
退職給付に係る負債	2,739	2,916
その他	1,362	1,942
固定負債合計	4,102	4,859
負債合計	11,987	11,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	25,930	26,187
自己株式	△393	△393
株主資本合計	37,683	37,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308	4,465
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△683	△406
退職給付に係る調整累計額	△66	△116
その他の包括利益累計額合計	2,558	3,942
非支配株主持分	2,065	2,154
純資産合計	42,307	44,037
負債純資産合計	54,294	55,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	29,327	29,986
売上原価	16,560	16,901
売上総利益	12,767	13,084
販売費及び一般管理費	11,422	11,350
営業利益	1,344	1,734
営業外収益		
受取利息	23	25
受取配当金	79	74
その他	77	71
営業外収益合計	180	171
営業外費用		
支払利息	18	21
為替差損	15	40
その他	12	20
営業外費用合計	47	81
経常利益	1,477	1,823
税金等調整前四半期純利益	1,477	1,823
法人税等	481	593
四半期純利益	995	1,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	219	228
親会社株主に帰属する四半期純利益	775	1,001

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	995	1,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	1,157
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△1,808	292
退職給付に係る調整額	58	△55
その他の包括利益合計	△1,677	1,394
四半期包括利益	△682	2,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△607	2,384
非支配株主に係る四半期包括利益	△74	239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,150	2,428	3,289	4,372	1,086	29,327	—	29,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,299	20	4	2,837	2,607	9,770	△9,770	—
計	22,450	2,448	3,294	7,210	3,694	39,097	△9,770	29,327
セグメント利益	2,906	44	253	471	189	3,864	△2,520	1,344

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,520百万円には、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,826	2,746	3,467	4,919	1,026	29,986	—	29,986
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,482	37	2	2,818	2,695	10,035	△10,035	—
計	22,309	2,783	3,469	7,737	3,721	40,022	△10,035	29,986
セグメント利益	3,246	71	317	557	169	4,362	△2,628	1,734

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,628百万円には、セグメント間取引消去△94百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,534百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。